

平成21年8月27日

担当課	義務教育課
内線電話	3373
直通電話	894-3373
担当者	高坂・森

## 「平成21年度全国学力・学習状況調査」の結果について

本年4月21日に実施された「平成21年度 全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。

本県の結果の概要について、別添のとおりお知らせします。

## 全国学力・学習状況調査実施の概要

### 1 目的

- ① 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

### 2 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
 中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

### 3 調査の内容

#### ①教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]	主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li> </ul>

#### ②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査</li> </ul>

### 4 調査日時

平成21年4月21日(火)

### 5 本県の参加状況

○参加校数 596校(100%)  
 <内訳>参加学校数

小学校	学校数
市町立小学校	374校
特別支援学校	4校
公立小計	378校
私立小学校	5校
国立小学校	1校
合計	384校

中学校	学校数
市町立中学校	192校
特別支援学校	6校
県立中学校	2校
公立小計	200校
私立中学校	11校
国立中学校	1校
合計	212校

## 全国学力・学習状況調査結果の概要

### 1 公立小・中学校、特別支援学校の結果

校 種	教 科	A問題(知識)			B問題(活用)		
		本 県	全 国	差	本 県	全 国	差
小学校	国 語	68.8	69.9	-1.1	48.7	50.5	-1.8
	算 数	78.2	78.7	-0.5	53.3	54.8	-1.5
中学校	国 語	78.1	77.0	+1.1	76.5	74.5	+2.0
	数 学	63.6	62.7	+0.9	58.7	56.9	+1.8

### 2 県立中学校の結果

校 種	教 科	A問題(知識)			B問題(活用)		
		本 県	全 国	差	本 県	全 国	差
中学校	国 語	94.5	77.0	+17.5	95.4	74.5	+20.9
	数 学	93.8	62.7	+31.1	91.7	56.9	+34.8

### <参考> H20の調査結果(公立小・中学校、特別支援学校)

校 種	教 科	A問題(知識)			B問題(活用)		
		本 県	全 国	差	本 県	全 国	差
小学校	国 語	62.6	65.4	-2.8	47.5	50.5	-3.0
	算 数	71.0	72.2	-1.2	49.4	51.6	-2.2
中学校	国 語	73.6	73.6	0.0	60.6	60.8	-0.2
	数 学	62.6	63.1	-0.5	49.9	49.2	+0.7

全国学力・学習状況調査結果の考察

【小学校・国語】

改 善 状 況	○漢字の読み書きは、初めて国の正答率を上回った。 ○課題であった「聞くこと」の問題は、国の正答率に近づいた。
---------	---

	課 題	改善のポイント
A問題 (知識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローマ字を正しく読んだり書いたりすること</li> <li>●接続語を使って一文を二文に分けて書くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ローマ字の規則性を理解させ、様々な場面でローマ字を使う機会を増やす。</li> <li>◇接続語の意味や用法を教え、様々な状況で活用できるよう繰り返し指導する。</li> </ul>
B問題 (活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的に応じて効果的に文章を書くこと</li> <li>●自分の考えをまとめることを目的として読むこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇情報の整理の仕方や条件に応じた表現方法について学ぶ機会を計画的に設ける。</li> <li>◇目的をもって本や文章を読み、自分の考えや感想を表現する活動を増やす。</li> </ul>

【小学校・算数】

改 善 状 況	○小数の除法、四則混合などの計算において、国の正答率を上回った。 ○「式やことばを使って理由や説明を記述する」問題において、国の正答率との差が縮小した。
---------	---

	課 題	改善のポイント
A問題 (知識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数直線の一目盛りの大きさを読み取ること</li> <li>●百分率を求めること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇等分の仕方が異なる数直線について目盛りの大小関係を読み取らせる学習を仕組む。</li> <li>◇百分率で表された数の大きさを、テープ図や線分図で表す活動を取り入れ、視覚的にとらえさせる活動を仕組む。</li> </ul>
B問題 (活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●示された解決方法を理解して、見方を変えた解決方法を考えて書くこと</li> <li>●グラフから割合の大小を判断し、その理由を書くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇様々な解決方法にふれさせ言葉や式を用いて説明する活動を取り入れる。</li> <li>◇基準量、比較量などを図に表し、割合の大小関係をとらえさせる活動を取り入れる。</li> </ul>

【中学校・国語】

改 善 状 況	<p>○漢字、慣用句、辞書の活用などについて、国の正答率を上回った。</p> <p>○「資料から読み取った情報を根拠に、自分の考えをまとめる」ことは国の正答率を最大6.4ポイント上回った。</p>
---------	--

	課 題	改善のポイント
A問題 (知識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主語に合わせて述語を適切に書くこと</li> <li>●短歌を意味のまとまりごとに分けること(文学的文章の読み取りに必要な知識)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇文や文章を書く過程において、語句同士の関係、文や段落の相互の関係を考察・推敲させながら書かせる。</li> <li>◇短歌を読む上での基本的な知識を教え、考えながら読み深める学習を仕組む。</li> </ul>
B問題 (活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文章の展開をとらえ、段落の役割を理解すること</li> <li>●文章と図など複数の資料を関連付けて読むこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇文章構成を形式的にとらえるだけでなく、書き手の意図を考えながら読ませる。</li> <li>◇文章と図表等を関連付けて読み、自分の言葉で分かりやすく説明する学習を取り入れる。</li> </ul>

【中学校・数学】

改 善 状 況	<p>○「与えられた情報を分類整理すること」については、国の正答率を3.5ポイント上回った。</p>
---------	--

	課 題	改善のポイント
A問題 (知識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文章問題から方程式をつくること</li> <li>●すでに正しいとわかっている性質を根拠にして証明すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇方程式をつくる各段階の指導に重点を置く。</li> <li>◇帰納的に導かれたものと演繹的に導かれたものの違いを理解する活動を仕組む。</li> </ul>
B問題 (活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること</li> <li>●実生活の中での事象を数学的にとらえ、問題解決の方法を説明すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇図形領域だけでなく、すべての領域で「説明・証明する活動」を取り入れる。</li> <li>◇身近な事象を取り入れるなど、実生活と数学の学習内容をつなぎ、繰り返し指導する。</li> </ul>

【質問紙調査】

生活習慣における改善状況や課題は、小・中学校ともに同じ傾向である。

改善状況	課題
<p>○朝食摂取、起床時刻、就寝時刻は共に、前年度よりさらに向上し、引き続き全国平均を上回っている。</p> <p>○授業以外での学習時間が前年度より増加しており、全国平均を上回っている。</p>	<p>●テレビやビデオ、DVDを2時間以上見ている割合は、前年度より減少したが、依然として全国よりも高い。</p> <p>●学校以外での読書時間は、年々減少傾向にある。</p>